

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F113310103769	設置等組織名	帝京大学理工学部データサイエンス学科
大学名	帝京大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	東京		
				事業計画名	帝京大学理工学部データサイエンス学科設置計画

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できず、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間		事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度		1～① 令和6年4月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス本館備品整備（複合機2台、パソコン2台） 2～① 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館電気設備整備（講義室・実験室・居室等の整備） 2～② 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館トイレ改修・空調更新整備工事（トイレ・講義室・実験室・居室等の整備） 2～③ 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館給水ポンプ整備工事 2～④ 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館屋外防水・外壁補修・非常階段・実験室等整備工事（実験室等の整備） 2～⑤ 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス本館整備費（P C実習室1～3の整備） 2～⑥ 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための本館学生ラウンジ整備工事（P C演習室の準備）	1～① 令和6年4月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス本館備品整備（複合機2台、パソコン2台） 2～① 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館電気設備整備（講義室・実験室・居室等の整備） 2～② 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館トイレ改修・空調更新整備工事（トイレ・講義室・実験室・居室等の整備） 2～③ 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館給水ポンプ整備工事 2～④ 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館屋外防水・外壁補修・非常階段・実験室等整備工事（実験室等の整備） 2～⑤ 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス本館整備費（P C実習室1～3の整備） 2～⑥ 令和6年8月～ データサイエンス学科設置のための本館学生ラウンジ整備工事（P C演習室の準備）	令和6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
令和7年度		2～⑧ 令和7年1月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館通信環境整備 3～① 令和7年4月 データサイエンス学科のための図書・電子BOOK等購入（図書館） 3～② 令和7年4月 データサイエンス学科のための雑誌・電子ジャーナル・データベース等購入（図書館） 3～③ 令和7年4月 データサイエンス学科のための配付刷印用紙（キャンパスライオン） 3～④ 令和7年4月 データサイエンス学科事業運営のため、職員3名採用（常勤2名・技術職員1名） 3～⑤ 令和7年4月 データサイエンス学科事業運営のため、教育・研究用品を購入 3～⑥ 令和7年10月 データサイエンス学科のためのホームページ開設 3～⑦ 令和7年10月 データサイエンス学科のための企業との打合せ（年5回）	2～⑧ 令和7年1月～ データサイエンス学科設置のための板橋キャンパス4号館通信環境整備 3～① 令和7年4月 データサイエンス学科のための図書・電子BOOK等購入（図書館） 3～② 令和7年4月 データサイエンス学科のための雑誌・電子ジャーナル・データベース等購入（図書館） 3～③ 令和7年4月 データサイエンス学科のための配付刷印用紙（キャンパスライオン） 3～④ 令和7年4月 データサイエンス学科事業運営のため、職員3名採用（常勤2名・技術職員1名） 3～⑤ 令和7年4月 データサイエンス学科事業運営のため、教育・研究用品を購入 3～⑥ 令和7年10月 データサイエンス学科のためのホームページ開設 3～⑦ 令和7年10月 データサイエンス学科のための企業との打合せ（年5回）	令和7年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
令和8年度				令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度				令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度				令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度		3～⑧ 令和11年1月 データサイエンス学科事業運営のため、現状調査分析を実施（卒業生アンケート：外注）		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度				令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度				令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度				令和14年度自己評価	リストから選択してください。
令和15年度				令和15年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出		令和6年3月 収容定員の増設の増加 認可申請予定 令和6年4月 理工学部データサイエンス学科の設置届出予定	令和6年3月 収容定員の増設の増加 認可申請 令和6年4月 理工学部データサイエンス学科の設置届出		
定員減又は学部等の廃止		令和7年4月 理工学部機械・精密システム工学科、理工学部航空宇宙工学科、理工学部情報電子工学科、理工学部バイオサイエンス学科265名定員減予定、減員後入学生定員0人、理学分野	令和7年4月 理工学部機械・精密システム工学科、理工学部航空宇宙工学科、理工学部情報電子工学科、理工学部バイオサイエンス学科は募集停止に伴い265名定員減		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	帝京大学
-------------	-------	-----	------

2.申請資格の確認

- i) 学生募集停止中の大学
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、ブルダウンで選択してください。（ブルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

- ① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。
- ② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の特組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
- ④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- ⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- ⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
- ⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
- ⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
- ⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。
- ⑨ 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
- ⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。
- ⑪ フェーズ3の助成期間終了時まで、に、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。
- ⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
- ⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
- ⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、令和7年度 の取組の状況についてブルダウンで選択してください。（ブルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をブルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェックa.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☐ チェックb.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☐ チェックc.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.理工学部共通科目である「データサイエンス・AI入門」の講義において、日産自動車株式会社より技術者を講師として招き、企業の実データを活用したデータ分析を行う授業をおこなっており、今後も継続していく予定である。2年次開講科目である「企業実習（インターンシップ）」（必修2単位）で、一般社団法人板木眼情報サービス産業協会の会員企業へ学生を2週間派遣する。インターンシップを単なる就業体験にするのではなく、地域の価値創造や課題解決を実現する多様な学習機会と捉え、大学で学んだ専門知識と実際の体験の統合を図ることにより、専門知識の学修や研究に対する目的意識を確立する。	理工学部共通科目である「データサイエンス・AI入門」の講義において、日産自動車株式会社より技術者を講師として招き、企業の実データを活用したデータ分析を行う授業をおこなっており、令和7年度においてもデータサイエンス学科にて同様の講義を継続して行えるよう講師の手配が完了した。2年次開講科目である「企業実習（インターンシップ）」（必修2単位）の実施に向け、一般社団法人板木眼情報サービス産業協会(TISA)および板木県経営者協会との打合せを実施し、インターンシップ受入れに向けた事前準備を進めている。	今年度は初年度であるため、準備を進めております。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☐ チェックa.入学者選抜における科目の見直し
- ☐ チェックb.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☒ チェックc.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☐ チェックd.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）
- ☐ チェックe.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
c.本学宇都宮キャンパスにおける地域連携プログラムとして「帝京大学サイエンスキャン」を開催している。本プログラムは、小中高生を対象としており、「理科好き」の生徒を育んでいくことを目的としている。本学理工学部所属の講師陣が、自動車のメカニズム、人工衛星、ロボット、DNAについてなど、さまざまな授業やイベントを企画している。本プログラムでデータサイエンス学科教員も参画し、地域におけるデジタル人材育成に向けた動機付けを行う予定である。	本学宇都宮キャンパスにおける地域連携プログラム「帝京大学サイエンスキャン」のイベントリストに、データサイエンス学科教員が担当する授業やイベントを追加するよう準備を進めている。	今年度は初年度であるため、準備を進めております。

大学名	帝京大学
-----	------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	帝京大学
-----	------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	5669	5670	5671																
		入学者数	人	5832	6039	6282																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	5,669	5,670	5,671																
		入学者数(B)	人	5,832	6,039	6,282																
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.03	1.07	1.11																
	収容定員等	収容定員(C)	人	23721	23025	23824																
		編入学定員	人	130	130	130																
		在籍者数(D)	人	23404	23337	24737																
		編入学者数	人	134	128	137																
		収容定員充足率 (D/C)	倍	0.99	1.01	1.04																

4.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況		申請－5年	申請－4年	申請－3年	申請－2年	申請－1年	申請	選定	開設											
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	3,062,937	2,152,264	1,768,464	1,994,669	2,880,348	2,274,944	2,329,187	2,779,909											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間ににおける各年度の外部資金獲得額	千円	2,342,427
本事業による助成金の額(F)	千円	417,289
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	2,352,859

特記事項